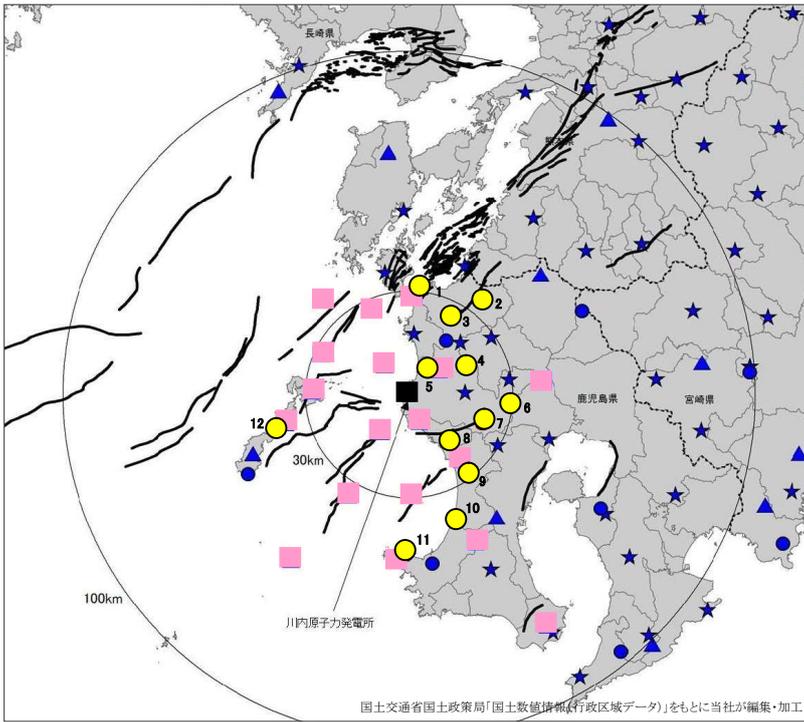
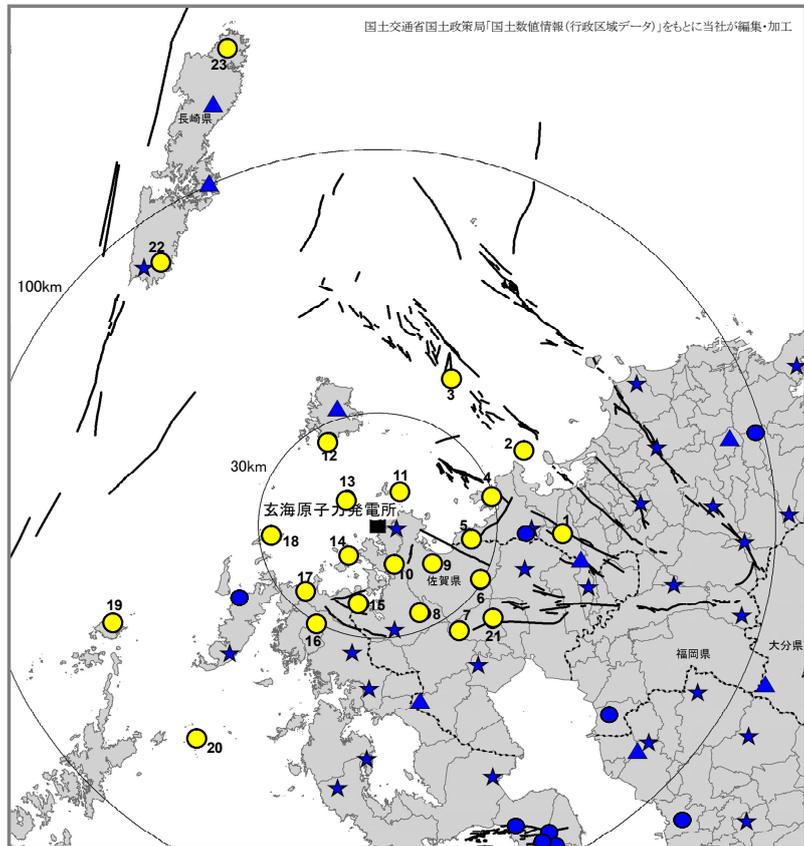


# 地震観測点の配置状況



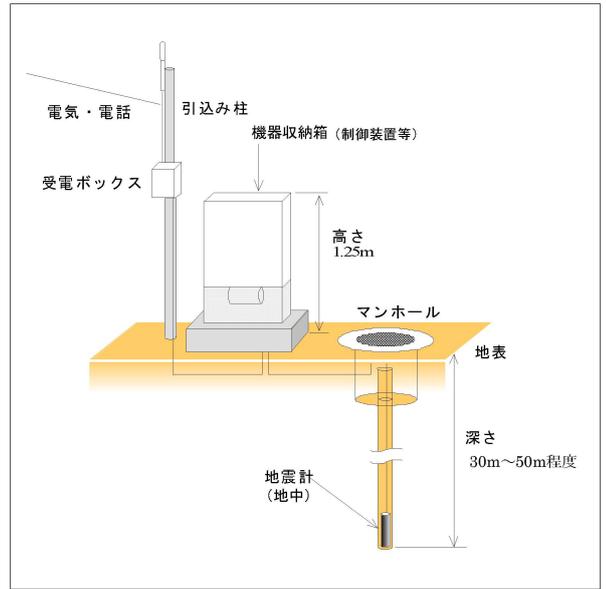
川内原子力発電所周辺  
【31箇所（既存19+増設12）】



玄海原子力発電所周辺  
【増設23箇所】

## 観測点設置の考え方

- ・発電所敷地への影響が大きい、発電所から半径30km圏内を対象
- ・10km間隔程度で30km圏内をまんべんなくカバーする配置
- ・30km圏外についても主要な活断層の周囲に配置



地震観測装置(イメージ図)

## スケジュール

	地震計設置	地震観測開始	定期公表開始
川内	H29.6~H30.3 12増設⇒計31地点	H30年 4月~	H31年度
玄海※	H30.7~H31.3 23地点設置	H31年 4月~	H32年度

(注) ※玄海エリアのスケジュールは予定

### 凡例(川内、玄海共通)

- 九電増設観測点  
川内周辺12箇所  
玄海周辺23箇所(設置予定)
- 九電既設観測点(19箇所)  
〔左上図中以外に1箇所(種子島)設置〕
- 活断層
- ▲ 気象庁
- ★ 防災科学研究所
- 大学
- 原子力発電所